



平成28年5月25日

各位

会社名 株式会社ハーツユナイテッドグループ  
代表取締役社長 CEO 宮澤 栄一  
代表者名 (コード番号：3676 東証第一部)  
取締役 CFO 風間 啓哉  
問合せ先 (TEL. 03-6406-0081)

## 特別損失(連結・単体)の計上に関するお知らせ

平成28年3月期において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 経緯

当社は、当社の会計監査人である有限責任監査法人トーマツ(以下、「トーマツ」)の確認のもと、平成28年5月13日に「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を公表いたしました。その時点において、当社の連結子会社である株式会社フレ임ハーツ(旧 株式会社プレミアムエージェンシー、以下、「フレ임ハーツ」)の株式取得時に発生したのれん等の評価に関してもトーマツと概ねの合意形成が図られておりました。その状況下において急遽、平成28年5月18日に、トーマツより本件に関する新たな見解、要望を受け、フレ임ハーツの将来に向けての財務の健全性及び事業性について協議して参りました。

当社は、平成28年3月期において、同社の再建に注力することで大幅な損失改善が実現できており、同社の再建は概ね完了しております。また、クリエイティブセグメント全体におけるさらなる事業効率の向上を達成するため、同社と当該セグメントにおける子会社2社の合併及び組織再編を実施し、事業の成長軌道への転換を着実に図って参りました。

この度、上記の見解、要望を受け、フレ임ハーツ及びクリエイティブセグメントにおける前向きな財務の健全性及び収益性の向上をより一層高めることを目的として、平成28年3月期に特別損失を計上することといたしました。

#### 2. 特別損失(連結)の内容

当社は、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」公表後の期末監査にあたり、フレ임ハーツの株式取得時に発生したのれん等について評価減を行うとともに、平成28年3月期の特別損失に減損損失として、594百万円を計上することといたしました。

#### 3. 特別損失(単体)の内容

当社は、連結子会社であるフレ임ハーツに対する貸付金の回収可能性を総合的に勘案した結果、貸倒引当金繰入額1,253百万円を特別損失として計上することといたしました。

#### 4. 業績に与える影響

上記「2. 特別損失(連結)の内容」に記載の損失計上に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益が594百万円減少しております。

なお、上記「3. 特別損失(単体)の内容」における特別損失である貸倒引当金繰入額については、連結上相殺消去さ

れるため、当該特別損失が連結業績に与える影響はありません。

また、上記特別損失の計上を受け、のれんの償却負担等が減少することにより、次期以降の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益が増加するため、平成28年5月13日に公表いたしました「平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)」及び、新中期経営計画の平成31年3月期の連結数値目標を以下のとおり変更いたします。

(ご参考)平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
変更前 (5月13日公表予想)	百万円 16,705	百万円 2,501	百万円 2,508	百万円 1,537	円 銭 137.42
変更後 (本日公表予想)	16,705	2,572	2,579	1,608	143.76

(ご参考)新中期経営計画の平成31年3月期の連結数値目標

	売上高	経常利益	1株当たり当期純利益	純資産配当率(DOE)
変更前 (5月13日公表予想)	300億円	47億円	256円	6%
変更後 (本日公表予想)	300億円	48億円	262円	6%

以上